

「事務機械製品の安全確保のための表示に関するガイドライン」に基づく
事務機械製品の安全確保のための表示実施要領
〈第2版〉

1998年(平成10年)6月改訂

社団法人 日本事務機械工業会

目次

I. 表示実施要領の基本的な考え方

- 1. 本書の目的 I - 1
- 2. 記載箇所 I - 1
- 3. 危険・警告・注意レベル区分の基本的考え方 I - 1
- 4. 警告表示すべき内容とその判断基準 I - 1
- 5. 取扱説明書の冒頭に記載する場合の例 I - 2

II. 個別表示実施要領

- 1. 複写機 II - 1
- 2. ページプリンタ II - 3
- 3. 電子黒板 II - 6
- 4. シュレッダ II - 8
- 5. 金銭登録機 II - 10
- 6. カード及びカードリーダー・ライタ装置 II - 13
- 7. 電卓・電子手帳類 II - 16
- 8. マイクロ写真 II - 18
- 9. ワープロ II - 21
- 10. 電子パブリッシング II - 24
- 11. 謄写機 II - 26
- 12. タイムレコーダ II - 28
- 13. タイプライタ II - 30
- 14. 電子ファイル II - 32

III. 内容一覧表製品本体、軟式トナー容器 III - 1

IV. 内容一覧表取扱説明書 IV - 1~3

V. 内容一覧表カタログ V - 1

I 表示実施要領の基本的な考え方

1. 本書の目的

この実施要領は、別冊の「事務機械製品の安全確保のための表示に関するガイドライン」に基づいて、製品本体、取扱説明書及びカタログへの表示を例示したものである。この実施要領に基づいて適正な表示を行い使用者の安全確保を図る。

2. 記載箇所

[製品本体]

- ・製品の使用者及び必要に応じて周囲の人に目立つ箇所で、かつ、安全確保上適した位置に表示する。

[取扱説明書]

- ・冒頭ページ等目立つ部分にまとめて箇条書きで記載する。
- ・必要に応じて説明書の本文中の関連箇所にも重複記載する。

[カタログ]

- ・消費者が製品購入時にわかるように表示する。
- ・表示場所は、原則としてカタログの最終ページに表示する。

3. 「危険・警告・注意」レベル区分の基本的考え方

	危害・損害の可能性		
	大（切迫）	中（可能性）	小（想定）
死亡	危険	警告	
重傷			
軽傷・物損			注意

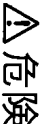

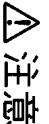
4. 警告表示すべき内容とその判断基準（例示）

	警告すべき内容	判断基準
1	高圧注意	電取法の基準として、600Vを越える部分について表示する。但し、IEC60950の基準に基づき限流回路と認められるものについてはこの限りではない。
2	感電注意	機器の裏蓋やカバー等を外した場合、ショックハザード電圧（尖頭42.4V又は直流60V）に触れる恐れのある場合に表示する。
3	高温注意	機器の外部については、電取法の基準を遵守する。 (例) ・人が、容易に触れるおそれのある外郭金属部は85℃その他100℃を越えないこと ・人が、容易に触れる恐れのないものは100℃（基準温度30℃）を越えないこと 機器の内部（定着器カバー等）については、IEC60950（5.1章 Table 16）の基準に基づき表示する。

警告すべき内容	判断基準
4 レーザー	クラスI(Ⅰ)、(Ⅱ)機器 JIS C 6802 (レーザー製品の放射安全基準) に準拠 (IEC60825-1 と同等) し表示する。
5 アース	クラスⅡ機器は、表示不要。 クラスⅠ機器は、取扱説明書に「感電防止のため、アース付コ ンセントを使用して下さい」の注意表示をする。 クラス0Ⅰ機器は、本体にアースマークを表示する。また、取扱 説明書はアースマークと「感電防止のため、アース接続をして ください」の注意表示をする。クラス0機器は、表示不要。
6 リチウム電池使用時 の注意	ユーザーが電池を交換することのできる機器の場合、本体及び取 説に必要な事項の注意表示をする。 なお、本体はオペレーターアクセスエリアまたはバッテリー近傍 に表示する。
7 電源プラグの 抜き差し時の注意	電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜くように注意表 示する。

5. 取扱説明書の冒頭に記載する場合の例

〈ご使用の前に〉または〈安全に正しくお使い頂くために〉
絵表示について この取扱説明書及び製品への表示では、製品を正しくお使い頂き、
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、
いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっ
ています。



















	危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危 険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可 能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定 される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。





















絵表示の例
















- △記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容 (左図の場合は感電注意) が描かれています。
- ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。
- 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け) が描かれています。

II. 個別表示実施要領



- (注意1) 指示文の〈 〉内で表現されている文章は例示であり、この表現通りでなくともよい。
- (注意2) 指示文の () 内で表現されている文章は、該当しない場合削除してもよい。
- (注意3) 製品本体に表示した事項は取扱説明書に表示する。
なお、表示内容と表現等については別冊「事務機械製品の安全確保のためのガイドライン」を参照のこと。

警告区分	絵表示	指示文
製品本体		
 注意		高温部に手を触れないでください。火傷の原因となります。
乾式トナー容器		
 注意		①トナーまたはトナーの入った容器（トナーカートリッジ）を火中に投じないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因となることがあります。 ②トナーまたはトナーの入った容器（トナーカートリッジ）を火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。 (注)①、②のいずれの指示文でも可。
 注意		子供の手にふれないようにして下さい。 (注)内容が同等ならば表現は自由とする。例えば、「子供の手の届くところへは保管しないで下さい。」でもよい。
取扱説明書		
 注意		<ぐらついた台の上や傾いた所>など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 警告		表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器の上にく花瓶、植木鉢、コップ>や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器の<裏ぶた、キャビネット、カバー>は外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
 警告		電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器を改造しないでください。火災、感電、レーザー光線への被爆のおそれがあります。レーザー光洩れによる失明のおそれがあります。

警告区分	絵表示	指示文
 警告		万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがあるなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。
 警告		万一異物<金属片、水、液体>が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
 警告		アース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。
 注意		湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 注意		機器を設置したらキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 注意		プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください)
 警告		濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
 注意		本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
 注意		連休等で長期間、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 注意		電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
カタログ		安全にお使いいただくために ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 表示された正しい電源・電圧でお使いください。 アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。



















警告区分	絵表示	指示文
製品本体		
 注意		高温部に手を触れないでください。火傷の原因となります。
 注意	レーザー光注意	レーザー光からの直接照射を避けてください (JIS C 6902またはIEC825に準拠し表示する)
乾式トナー容器		
 注意		①トナーまたはトナーの入った容器 (トナーカートリッジ) を火中に投げないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因となることがあります。 ②トナーまたはトナーの入った容器 (トナーカートリッジ) を火中に投げないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。 (注)①、②のいずれの指示文でも可。
 注意		子供の手にふれないようにして下さい。 (注)内容が同等ならば表現は自由とする。例えば、「子供の手の届くところへは保管しないで下さい。」でもよい。
取扱説明書		
 注意		<ぐらついた台の上や傾いた所>など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 警告		表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器の上にく花瓶、植木鉢、コップ>や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この容器の固定されている (カバー) は外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。内部の点検・調整・修理は<販売店 (またはサービス実施点) >にご依頼ください。












警告区分	絵表示	指示文
 警告	レーザー	この容器の固定されている (カバー) は外さないでください。レーザー光洩れによる失明のおそれがあります。内部の点検・調整・修理は<販売店 (またはサービス実施点) >にご依頼ください。
 警告		電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器を改造しないでください。火災、感電、レーザー光線への被ばくのおそれがあります。レーザー光洩れによる失明のおそれがあります。
 警告		万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社 (あるいは保守・サービス会社) にご連絡ください。
 警告		万一異物<金属片、水、液体>が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社 (あるいは保守・サービス会社) にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
 警告		アース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、販売会社 (あるいは保守・サービス会社) にご相談ください。
 注意		湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 注意		狭い部屋で長時間使用する時は、換気にご注意ください。
 注意		機器を設置したらキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 注意		プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください)
 警告		濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
 注意		本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
 注意		連休等で長期間、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告区分	絵表示	指示文
 注意		電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
カタログ		安全にお使いいただくために ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 表示された正しい電源・電圧でお使いください。 アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。

































電子黒板

警告区分	絵表示	指示文
製品本体		
取扱説明書		
 注意		<ぐらついた台の上や傾いた所>など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 警告		表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器の<裏ぶた、キャビネット、カバー>は外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
 警告		電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。
 警告		万一異物<金属片、水、液体>が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
 警告		アース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。
 注意		湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。



















警告区分	絵表示	指示文
 注意		機器を持ち上げたり傾けたりしないでください。転倒して、けがの原因となることがあります。
 注意		プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください)
 警告		濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
 注意		本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
 注意		連休等で長期間、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 注意		電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
カタログ		安全にお使いいただくために ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 表示された正しい電源・電圧でお使いください。 アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。

シュレッダ







警告区分	絵表示	指示文
製品本体		
 警告		投入口や排出口には、指を入れしないでください。けがの原因となることがあります。
 警告		髪の毛、ネクタイ、ネックレス等を投入口にたらししないでください。引き込まれてけがの原因となることがあります。
取扱説明書		
 注意		<ぐらついた台の上や傾いた所>など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 警告		表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器の<裏ぶた、キャビネット、カバー>は外さないでください。内部にはカッターがありけがのおそれがあります。
 警告		電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。
 警告		万一異物<金属片、水、液体>が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
 警告		アース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご相談ください。
 注意		湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 注意		この機器の上に重い物を置かないでください。置いたものがバランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
























警告区分	絵表示	指示文
 警告		濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
 注意		本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
 注意		電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
カタログ		安全にお使いいただくために ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 表示された正しい電源・電圧でお使いください。 アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。

金銭登録機



警告区分	絵表示	指示文
製品本体		
 警告		高圧注意 サービスマン以外の方は裏ぶたをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあり万一さわると危険です。(CRT等、使用機器に限る)
取扱説明書		
 注意		<ぐらついた台の上や傾いた所>など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 警告		表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 注意		この機器の上には<花瓶、植木鉢、コップ>や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
 注意		この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としこんだりしないでください。火災、感電の原因となります。
 警告		この機器の<裏ぶた、キャビネット、カバー>は外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
 警告		電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。
 警告		万一異物<金属片、水、液体>が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
 警告		万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の（電源スイッチを切り）電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

警告区分	絵表示	指示文
 警告		アース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。
 注意		湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 注意		<調理台や加湿器のそばなど>油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 注意		この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
 注意		この機器の上に重いものを置かないでください。置いたものがバランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
 注意		プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください)
 警告		濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
 注意		本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
 注意		連休等で長期間、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 注意		機器で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。(外部電池のみ)
 注意		電池を機器に挿入する場合、極性表示<プラスマイナスの向き>に注意して入れてください。間違えますと乾電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。(外部電池のみ)
 注意		引き出し（ドロア）が開いている時に、引き出し（ドロア）に寄りかからないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 注意		引き出し（ドロア）が開く際、子供の顔等に当たらないよう、ご注意ください。けがの原因となることがあります。







警告区分	絵表示	指示文
 注意		記録紙交換等の際にプリンタのギアに髪の毛やスカーフ等が巻き込まれないよう、ご注意ください。けがの原因となることがあります。
 注意		プリンタのヘッド部分には、触れないよう、ご注意ください。けがや火傷の原因となることがあります。
 注意		電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
カタログ		安全にお使いいただくために ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 表示された正しい電源・電圧でお使いください。 アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。

警告区分	絵表示	指示文
製品本体		
 警告		高温部に手を触れないでください。火傷の原因となります。(印字機能付きリーダー・ライター)
 注意	レーザー光注意	レーザー光からの直接照射を避けてください。(JIS C 6802またはIEC825に準拠し表示する)(光カードリーダー・ライター)
取扱説明書		
 注意		<ぐらついた台の上や傾いた所>など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 警告		表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 注意		この機器の上にく花瓶、植木鉢、コップ>や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
 注意		この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としこんだりしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 警告		この機器の<裏ぶた、キャビネット、カバー>は外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
 警告		この機器の<裏ぶた、キャビネット、カバー>は外さないでください。内部には刃がありけがのおそれがあります。
 警告		電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。
 警告		万一異物<金属片、水、液体>が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

II-13

警告区分	絵表示	指示文
 注意		万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の(電源スイッチを切り)電源プラグをコンセントから抜いて販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
 警告		アース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご相談ください。
 注意		ボタン電池について「この機器に使用しているボタン電池を取り外した場合は、小さなお子様ボタン電池を誤って飲むことがないようにしてください」 「電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください」
 注意		湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 注意		<調理台や加湿器のそばなど>油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 注意		機器を設置したらキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 注意		この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
 注意		この機器の上に重い物を置かないでください。置いたものがバランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
 注意		プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください)
 警告		濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
 注意		本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
 注意		連休等で長期間、本機を使用しない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



















II-14

警告区分	絵表示	指示文
 注意		機器で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。
 注意		電池を機器に挿入する場合、極性表示<プラスマイナスの向き>に注意して入れてください。間違えますと乾電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 注意		電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
カタログ		安全にお使いいただくために ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 表示された正しい電源・電圧でお使いください。 アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。

電卓・電子手帳類


















(電池の取扱いに関する表示以外はAC電源使用の製品に適用する)
























警告区分	絵表示	指示文
製品本体		
取扱説明書		
 注意		<ぐらついた台の上や傾いた所>など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 警告		表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 注意		この機器の上にく花瓶、植木鉢、コップ>や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
 注意		この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としこんだりしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 警告		この機器の<裏ぶた、キャビネット、カバー>は外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
 警告		電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。
 注意		ボタン電池について「この機器に使用しているボタン電池を取り外した場合は、小さなお子様ボタン電池を誤って飲むことがないようにしてください」 「電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください」



警告区分	絵表示	指示文
 警告		アース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。
 注意		湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 注意		<調理台や加湿器のそばなど>油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 注意		プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。（必ずプラグを持って抜いてください）
 警告		濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
 注意		連休等で長期間、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 注意		機器で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。
 注意		電池を機器に挿入する場合、極性表示<プラス+マイナス-の向き>に注意して入れてください。間違えますと乾電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 注意		電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
カタログ		安全にお使いいただくために ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 表示された正しい電源・電圧でお使いください。 アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。
















マイクロ写真



警告区分	絵表示	指示文
製品本体		
 注意		高温部に手を触れないでください。火傷の原因となります。
 注意	レーザ光注意	レーザ光からの直接照射を避けてください（JIS C 6902またはIEC825に準拠し表示する）
乾式トナー容器		
 注意		①トナーまたはトナーの入った容器（トナーカートリッジ）を火中に投げないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因となることがあります。 ②トナーまたはトナーの入った容器（トナーカートリッジ）を火中に投げないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。 (注)①、②のいずれの指示文でも可。
 注意		子供の手につれないようにして下さい。 (注)内容が同等ならば表現は自由とする。例えば、「子供の手が届くところへは保管しないで下さい。」でもよい。
取扱説明書		
 注意		<ぐらついた台の上や傾いた所>など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 警告		表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器の上になく花瓶、植木鉢、コップ>や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としこんだりしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器の<裏ぶた、キャビネット、カバー>は外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

警告区分	絵表示	指示文
 警告		電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。
 警告		万一異物く金属片、水、液体が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
 警告		アース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。
 注意		湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 注意		狭い部屋で長時間使用する時は、換気にご注意ください。
 注意		機器を設置したらキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 注意		この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
 注意		プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。（必ずプラグを持って抜いてください）
 警告		濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
 注意		本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
 注意		連休等で長期間、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告区分	絵表示	指示文
 注意		電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
カタログ		安全にお使いいただくために ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 表示された正しい電源・電圧でお使いください。 アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。















警告区分	絵表示	指示文
製品本体		
 警告		高圧注意 サービスマン以外の方は裏ぶたをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあり万一さわると危険です。
取扱説明書		
		<ぐらついた台の上や傾いた所>など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
		表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
		この機器の上にく花瓶、植木鉢、コップ>や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
		この機器の<裏ぶた、キャビネット、カバー>は外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
		電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
		この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
		万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。
		万一異物く金属片、水、液体>が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
		万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の（電源スイッチを切り）電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
		アース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。

警告区分	絵表示	指示文
		ボタン電池について「この機器に使用しているボタン電池を取り外した場合は、小さなお子様ボタン電池を誤って飲むことがないようにしてください」 「電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください」
		湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
		この機器の通風孔をふさがしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
		この機器の上に重いものを置かないでください。置いたものがバランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
		プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。（必ずプラグを持って抜いてください）
		濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
		本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
		連休等で長期間、本機を使用しない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
		機器で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。
		電池を機器に挿入する場合、極性表示<プラスマイナスの向き>に注意して入れてください。間違えますと乾電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
		電源プラグは、奥まで確実に挿入してください。火災や故障の原因となることがあります。
		炎天下の車中に長時間放置しないでください。高熱によりキャビネット等が過熱・変形・溶解する原因となることがあります。
		長時間お使いになるときは、健康のため、1時間ごとに10～15分の休憩をとり、目および手を休めてください。

警告区分	絵表示	指示文
 注意		電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
カタログ		安全にお使いいただくために ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 表示された正しい電源・電圧でお使いください。 アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。













電子パブリッシング

警告区分	絵表示	指示文
製品本体		
 警告		高圧注意 サービスマン以外の方は裏ぶたをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあり万一さわると危険です。(CRT等、使用機器に限る)
取扱説明書		
 注意		くぐらついた台の上や傾いた所>など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 警告		表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器の<裏ぶた、キャビネット、カバー>は外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
 警告		電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがあるなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。
 警告		万一異物<金属片、水、液体>が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
 注意		万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の（電源スイッチを切り）電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
 警告		アース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。
 注意		湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

警告区分	絵表示	指示文
 注意		この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
 注意		この機器の上に重いものを置かないでください。置いたものがバランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
 注意		プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください)
 警告		濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
 注意		本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
 注意		連休等で長期間、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 注意		電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
カタログ		安全にお使いいただくために ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 表示された正しい電源・電圧でお使いください。 アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。











謄写機

警告区分	絵表示	指示文
製品本体		
取扱説明書		
 注意		<ぐらついた台の上や傾いた所>など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 警告		表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器の上に<花瓶、植木鉢、コップ>や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としこんだりしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器の<裏ぶた、キャビネット、カバー>は外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
 警告		電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。
 警告		万一異物<金属片、水、液体>が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
 警告		アース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。





















警告区分	絵表示	指示文
 注意		湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 注意		機器を設置したらキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 注意		プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください)
 警告		濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
 注意		本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
 注意		電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
カタログ		安全にお使いいただくために ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 表示された正しい電源・電圧でお使いください。 アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。



タイムレコーダ

警告区分	絵表示	指示文
製品本体		
取扱説明書		
 注意		<ぐらついた台の上や傾いた所>など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 警告		表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 注意		この機器の上にく花瓶、植木鉢、コップ>や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器の<裏ぶた、キャビネット、カバー>は外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
 警告		電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いをするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。
 警告		万一異物<金属片、水、液体>が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
 警告		アース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご相談ください。
 注意		湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

警告区分	絵表示	指示文
 注意		<調理台や加湿器のそばなど>油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 注意		プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください)
 警告		濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
 注意		本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
 注意		電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
カタログ		安全にお使いいただくために ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 表示された正しい電源・電圧でお使いください。 アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。








タイプライター

警告区分	絵表示	指示文
製品本体		
取扱説明書		
 警告		表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器の<裏ぶた、キャビネット、カバー>は外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
 警告		電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。
 警告		万一異物<金属片、水、液体>が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
 警告		アース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご相談ください。
 注意		プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください)
 警告		濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
 注意		本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

警告区分	絵表示	指示文
 注意		電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
カタログ		安全にお使いいただくために ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 表示された正しい電源・電圧でお使いください。 アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。

電子ファイル

警告区分	絵表示	指示文
製品本体		
 警告		高圧注意 サービスマン以外の方は裏ぶたをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあり万一さわると危険です。(CRT等、使用機器に限る)
取扱説明書		
 注意		<ぐらついた台の上や傾いた所>など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 警告		表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 注意		この機器の上にく花瓶、植木鉢、コップ>や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
 注意		この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としこんだりしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 警告		この機器の<裏ぶた、キャビネット、カバー>は外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
 警告		電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
 警告		この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
 警告		万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。
 警告		万一異物<金属片、水、液体>が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
 注意		万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の（電源スイッチを切り）電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

警告区分	絵表示	指示文
警告		アース接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。
注意		湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
注意		この機器の上に重いものを置かないでください。置いたものがバランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
注意		プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください)
警告		濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
注意		本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
注意		電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
カタログ		安全にお使いいただくために ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。 表示された正しい電源・電圧でお使いください。 アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。

品目	表示内容	危険	警告	注意
電子ファイル	指示文	☆		
タイプライター		☆		
タイムレコーダ		☆		
謄写機		☆		
電子バブプリシテック		☆		
ワープロ		☆		
マイクロ写真		☆		
電卓・電子手帳類		☆		
カード及びカードリーダー装置		☆		
金銭登録機		☆		
シュレッダ		☆		
電子黒板		☆		
ページプリンタ		☆		
複写機		☆		

安全にお使いいただくために
 ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 表示された正しい電源・電圧でお使いください。
 アース接続を確実に行ってください。故障や漏電の場合、感電するおそれがあります。

V-1

「警告表示WGメンバー」

(順不同)

- [第一版]
- 技術委員会/安全小委員会
 委員長 久保田嘉一
 安全小委員会/警告表示WG
 主査 結城 勲
 委員 佐藤 幸一
 洪沢 清和
 小寺 泰弘
 新里 勝弘
 斎藤 宏
 斎藤 起
 村沢 賢二
 渡部 利範
 前川 悦一
 漆田 茂雄
 広田 彰夫
- 事務局
 漆田 茂雄
- カシオ計算機 (株)
 富士ゼロックス (株)
 日本IBM (株)
 (株) リコー
 ミノルタ (株)
 シャープ (株)
 (株) 東芝
 松下電器産業 (株)
 カシオ計算機 (株)
 キヤノン (株)
 コニカ (株)
- (社) 日本事務機械工業会
 (社) 日本事務機械工業会

- [第二版]
- 技術委員会/安全小委員会
 委員長 結城 勲
 安全小委員会/警告表示WG
 主査 結城 勲
 委員 洪沢 清和
 小寺 泰弘
 斎藤 起
 村沢 賢二
 渡部 利範
 五野 克昭
- 事務局
 漆田 茂雄
- 富士ゼロックス (株)
 富士ゼロックス (株)
 (株) リコー
 ミノルタ (株)
 松下電器産業 (株)
 カシオ計算機 (株)
 キヤノン (株)
 コニカ (株)
- (社) 日本事務機械工業会

事務機械製品の安全確保のための
表示実施要領

1995年（平成7年）3月
1998年（平成10年）6月（第2版）

発行所 社団法人 日本事務機械工業会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目21番19号
秀和第2虎ノ門ビル

電話 東京(03)3503-9821（代表）